

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	公共下水道ポンプ場維持費		部課コード	1610	予算事業科目	110102010220	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部局長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別事務	全部	110102010220	-		
	担当部署	下水道保全課	所属長名(1次評価者)	久保 一夫					-		
	電話番号	088-823-9472	E-mail	161000@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	11 下水道事業特別会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	すべての市民が安全で、安心して暮らせる快適な生活環境づくりを推進します。
款	01 下水道費	政策	05 快適で安全な生活環境づくり		
項	02 下水道施設費	施策	04 下水道整備		
目	01 公共下水道維持費	区分	05 その他の下水道事業		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	下水道法第3条, 下水道維持管理指針	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	公共下水道ポンプ場 19 機場		
意図	どのような状態にしていくのか	公共下水道を適切に管理していくことにより、快適な生活環境を確保し、また降雨時に市民の命と財産を守る。		
手段	事業実施体制等	維持管理は修繕及び請負工事を実施。運転管理及び点検業務は民間会社に委託。水防業務は、市の水防体制及び運転委託業者のポンプ場運転体制で対応。	事業開始年度	昭和26年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプ場施設の維持管理。 ●ポンプ場設備の日常点検及び修理修繕。 ●ポンプ場設備の整備工事。 ●水防時の内水排除。 ●緊急時の故障対策。 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	浸水災害ゼロ	ポンプ場設備起因の浸水災害の件数	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄		
成果指標	A	浸水災害ゼロ	目標	0件	0件	0件	0件		
			実績	100%	100%	100%			
	B		目標						
			実績						
C		目標							
		実績							
投入コスト	①事業費	決算額 (千円)		270,793	376,467	443,424	491,900		
		財源内訳	国費 (千円)				76,500		81,500
			県費 (千円)						
			市債 (千円)						81,500
			その他 (千円)		35,245	44,349	58,541		53,286
			一般財源 (千円)		235,548	332,118	308,383		275,614
	翌年度への繰越額 (千円)								
	②概算人件費等	人件費等 (千円)		60,000	67,500	52,500	82,500		
		正規職員 (千円)		60,000	67,500	52,500	82,500		
		その他 (千円)							
		人役数 (人)		8.00	9.00	7.00	11.00		
		正規職員 (人)		8.00	9.00	7.00	11.00		
		その他 (人)							
総コスト= ① + ② (千円)		330,793	443,967	495,924	574,400				
市民1人当たりコスト (円)		969	1,303	1,460		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

本事業ではポンプ場19機場97台のポンプ設備の維持管理を行っているが、一部設備では老朽化が進み、交換部品の製造中止や部品在庫がなくなるなど、維持管理経費の増大化が避けられない状況となっている。このため21年度は、塩谷ポンプ場No.1ポンプ及び電気設備の更新、海老ノ丸・薊野・秦ポンプ場の長寿命化工事などの認証工事を行い、整備費の軽減化を図ることができた。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 28 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	本事業は「安全なまちづくり」の重要な部分を担う事業であり、市民ニーズも増大している。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	事業の目標は「浸水災害0」であり、十分達成している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	ポンプ場の運転管理、日常点検を民間に委託しており実施済みである。 耕地課、河川水路課などの雨水排水施設の管理も一元的に行っており、概ね効率的にできている。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	市民の生命・財産を守るための事業であり、極めて公平性が高い。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点 20.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	市民の生命・財産を守る重要な役割を担っており、技術の伝承に努めながら、事業を継続していく必要がある。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項